

読むと仁和のまちが♡好き♡になる

にん な がっ く

仁和学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2

Feb.2021



仁和学区のまちづくり活動について 教えて、会長さん！

今回は、仁和福祉団体連合会 上岡 修 会長に、コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、上京区社協職員がお話を伺いました。



◎コロナ禍中のまちづくり活動について

自治会加入世帯は減少傾向です。一方で、空き家が増加傾向です。

広報紙「仁和」は、平野副会長を中心に編集委員が協力して年6回発行していて好評です。今年度は行事がないためネタに困っていますが、町名の由来などを掲載しているところです。

令和元年度から、仁和まつりを体育祭と夏まつりに分けて実施しました。令和2年度は実施できませんでしたが、令

和元年度の体育祭はブロック対抗で、大変盛り上がりました。コロナ禍が収束したら、敬老会も含め思いっきり開催したいですね。

子育てサロンは、子どもさんと保護者の方が高齢の方と交流できるよう工夫してきましたが、コロナ禍で交流できなくなってしまいました。

高齢の方向けの取り組みも、今は体操のみ。ゲーム等を楽しみに来られていた人は、来なくなってしまいました。

配食活動も行っていますが、コロナ禍とあって数が減っています。コロナ禍前は、包括の職員さんが同行してチラシを渡したりしていました。配食活動が、見守り活動や担い手さん同士の情報交換の機会にもなっています。

◎コロナ禍後のまちづくり活動について

仁和学区では、包括さんや区社協などのご協力をいただきながら、新しい居場所活動を始めようとしています。

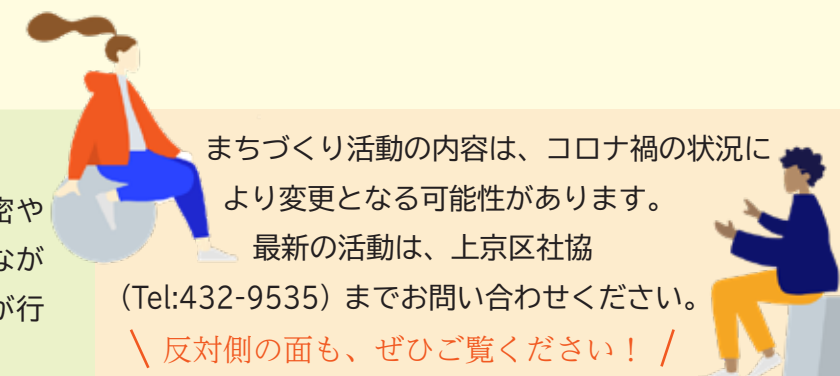
「言い出しっぺが全部やらないといけない」空気だとなかなか前に進まないし、活発な意見も出ないので、「みんなでやる」空気をつくっていききたいですね。居場所活動は、居場所という「場所」があるだけでは不十分で、そこで誰かと顔を合わせられたりおしゃべりできたりという「顔なじみの関係」があるから、本当の居場所になるのだと思います。若い人も含めた多世代の方が参加できる居場所にしたいです。



コロナ禍前に行われていたまちづくり活動の様子。



仁和学区では、3密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。



まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。最新の活動は、上京区社協 (Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！